

議 事

岡山県スポーツ推進計画の進捗状況（2023 年度実績）について

- ア 評価方法、基本施策別の評価結果 P 1
- イ 数値目標の進捗状況 P 3
- ウ 岡山県スポーツ推進計画（改訂版）2022 年度施策評価シート
. P 6

第2次岡山県スポーツ推進計画の進捗状況（2023年度実績）について

ア 評価方法、基本施策別の評価結果

岡山県スポーツ推進計画に基づいて実施する施策が、施策目標に対してどれほど達成できているか判断するため、5段階で評価したものです。

【第2次岡山県スポーツ推進計画】

計画期間を令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とし、4つの基本施策を実施しています。

1 評価方法

（1）評価指標

5点	目標を大きく上回り、著しく高い成果が現れている
4点	目標を上回っており、具体的成果が現れている
3点	概ね目標を達成しており、具体的成果が現れている
2点	目標に達しておらず、関連する所管事業の改善が必要である
1点	目標を大きく下回り、関連する所管事業の根本的な見直しが必要である

（2）総合評価

関係各課の評価の平均値を出し、小数点第1位まで数値化した。

2 基本施策別の評価結果

別添のとおり

3 総括

第2次岡山県スポーツ推進計画の初年度である2023年度は、スポーツイベントや各種大会、研修が再開され、具体的な各施策を実行することが出来たが、数値目標に関しては、今後の伸びが期待出来るものの、目標から開きがある項目もあり、更に各施策を推進する必要がある。

基本施策Ⅰ 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

項 目	総合評価	前年度比
1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進	3.0(3.0)	→
2 働く世代、子育て世代、高齢者の運動・スポーツ活動の推進	3.3(3.0)	↑
3 学校における体育・スポーツ活動の充実		
（１）子どもの体力向上に向けた取組	3.0(2.0)	↑
（２）運動部活動改革の推進	3.0(3.0)	→
4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進		
（１）障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	3.0(3.0)	→
（２）障害者スポーツの指導者の養成やボランティアの参加推進	3.0(3.0)	→

基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

項 目	総合評価	前年度比
1 アスリートの育成・強化	3.0(3.0)	→
2 アスリート育成パスウェイの構築	3.0(3.0)	→
3 指導者の育成・資質向上	3.0(3.0)	→
4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築	3.0(3.0)	→
5 アスリートの安全・安心の確保	3.0(－)	(－)

基本施策Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

項 目	総合評価	前年度比
1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現	3.0(3.0)	→
2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化	3.3(2.5)	↑
3 トップクラブチームを核とした地域活性化	3.0(2.0)	↑
4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催	3.0(－)	(－)

基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備

項 目	総合評価	前年度比
1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場の創出	3.3(3.0)	↑
2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	2.8(2.3)	↑
3 スポーツ界におけるDXの推進	3.0(－)	(－)
4 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信	3.0(3.0)	→

※総合評価の（ ）内は前年度の評価数字を参考に記載しています。

（旧計画によるため、評価数字が無い項目や、内容や数値目標が異なることがあります。）

イ 数値目標の進捗状況

第2次岡山県スポーツ推進計画は、計画期間を令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とし、4つの基本施策15項目の数値目標を設定している。

【基本施策Ⅰ 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出】

項 目	基準値 令和4 2022	直近 令和5 2023	目標値 令和9 2027
成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	38.9%	37.1%	55.0%
1週間の総運動時間数60分未満の児童生徒数の割合			
【小5男子】	9.5%	9.1%	4.3%
【小5女子】	15.5%	16.4%	7.4%
【中2男子】	7.6%	12.2%	3.7%
【中2女子】	17.9%	25.7%	8.9%
運動やスポーツをすることが好きな児童生徒数の割合			
【小5男子】	69.2%	72.1%	75.0%
【小5女子】	53.1%	53.5%	60.0%
【中2男子】	64.1%	64.3%	65.0%
【中2女子】	47.8%	44.9%	50.0%
新体力テストにおける総合評価C以上の児童生徒の割合			
【小5男子】	64.3%	65.6%	80%以上
【小5女子】	69.9%	70.7%	80%以上
【中2男子】	67.6%	67.3%	85%以上
【中2女子】	81.7%	80.7%	85%以上
障害者スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数	年間 26回 ※R3年度	年間 47回	年間 50回以上

【基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築】

項 目	基準値 令和 4 2022	直近 令和 5 2023	目標値 令和 9 2027
国民体育大会における天皇杯順位 ※1	16 位	20 位	10 位台
世界大会の出場者数	13 人 ※2	14 人	15 人 ※3
「岡山県アスリート就職支援事業」による県内就職内定者 ※R3 年度	4人	4人	5人
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数	3,206人	3,486人	3,500人

※ 1 令和 6 年第 78 回大会から「国民スポーツ大会」に名称変更。

※ 2 H30 年～R 3 年（R2 年を除く）の平均

※ 3 R 7 年～R9 年の平均

【基本施策Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造】

項 目	基準値 令和 4 2022	直近 令和 5 2023	目標値 令和 9 2027
地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合 ※R3 年度	34.3%	51.7%	50.0%
「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	28.2%	31.0%	38.0%

国際スポーツイベント等誘致件数	2 件	3 件	2 件以上
トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	シーズン 111 千人 ※R3 年度	シーズン 248 千人	シーズン 267 千人

【基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備】

項 目	基準値 令和 4 2022	直近 令和 5 2023	目標値 令和 9 2027
県営スポーツ施設利用者数	492 千人 ※R3 年度	1,776 千人	1,847 千人
スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数	28,103 件 ※1	26,273 件	42,000 件

※1 H30 年度～R3 年度の平均

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進	担当課室	子ども・福祉部子ども未来課 教育庁保健体育課 環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・ 幼児の運動遊び、リズム遊び等を行うおかやま地域子育て支援拠点の認知度向上の取組や情報発信を行った。 ・ おかやま地域子育て支援拠点の従事者を対象とした研修を実施し、従事者の育成、質の向上を図った。 ・ 国公立幼稚園・認定こども園に対し、スポーツ庁が主催する体育・保健体育指導力向上研修の研修内容を踏まえた研修会を実施し、各園における運動遊びの更なる充実を図った。 ・ 乳児期指導者を、幼児や児童を対象とした教室に派遣し、「アクティブ・チャイルド・プログラム」を活用した取組の普及を図った。 ・ 部活動の地域連携・地域移行に向け、地域の実情や課題等を把握するため、市町村やスポーツ・文化団体等と意見交換会を開催し、新たな地域クラブ活動の構築を目指す市町村等の参考にするためガイドラインを策定した。また、指導者の資質向上に向けた研修会を開催した。 ・ 「部活動の地域移行」推進事業を実施し、モデル地域（5市町）では、種目によって休日にスポーツ少年団や地域クラブで子どものニーズに応じた活動を行うことができる体制を整えることができた。 ・ 岡山県スポーツ協会を通じ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の活動を支援した。 ・ 県内6トップクラブチームのホームゲームで開催した「県民応援デー」において、子どもや若者がスポーツ活動に取り組む機会の提供、意欲の向上に努めた。 ・ トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校等に派遣する「トップアスリート派遣事業」等を実施。青少年がアスリートと接する機会の提供、指導者の資質向上につながった。
課題	・ 従事者の更なる質の向上を図る必要がある。 ・ 「学校体育実技指導資料」をより有効に活用するため、運動遊びの研修会等を実施する必要がある。 ・ 部活動の地域連携・地域移行に向け、有資格者に限らず、より多くの指導者を確保する必要がある。 ・ モデル地域（5市町）以外の市町村でも、地域移行が進むよう支援が必要である。 ・ スポーツにあまり関心のない子どもや若者にどのようにコンタクトしていくか、開催方法や活動内容の工夫、開催PRの強化を図る必要がある。

3 各課における評価

番号		部課名		事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	子ども未来課	事業内容	・地域子育て支援拠点事業を実施する市町村への支援（子ども・子育て支援交付金の交付、事業実施への技術的助言等） ・地域子育て支援拠点事業に従事する者の育成、資質向上 ・地域子育て支援拠点事業のPR					
			成果・課題	【成果】 ・実施市町村数：26市町村 ・子育て支援員研修修了者：105名 ・PR：岡山県ホームページによる紹介 【課題】 ・地域子育て支援拠点事業の認知度向上 ・さらなる従事者の育成及び資質向上				
		評価		2023年度	3			
				2024年度				
				2025年度				
				2026年度				
			2027年度					

2	保健体育課	事業内容	・運動遊び等の指導力向上につながる指導者研修会の実施 ・運動部活動の地域クラブ活動への移行に向けた取組				
		成果・課題	【成果】 ・国公立幼稚園・認定こども園に対し、スポーツ庁が主催する体育・保健体育指導力向上研修の研修内容を踏まえた研修会を実施し、各園における運動遊びの更なる充実を図った。 ・「部活動の地域移行」推進事業を実施し、モデル地域(5市町)では、種目によって休日にスポーツ少年団や地域クラブで子どものニーズに応じた活動を行うことができる体制を整えることができた。 【課題】 ・「学校体育実技指導資料」をより有効に活用するため、運動遊びの研修会等を実施する必要がある。 ・モデル地域(5市町)以外の市町村でも、地域移行が進むよう支援が必要である。	評価	2023年度	3	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
3	スポーツ振興課	事業内容	・乳児期における運動体験の充実のため、乳児期指導者を幼稚園やスポーツクラブへ、幼児や児童を対象とした教室に派遣し、「アクティブ・チャイルド・プログラム」を活用した取組の普及を図る。併せて保護者等への啓発活動を推進する。 ・部活動の地域連携・地域移行を進めるにあたり、指導者の人材確保や資質の向上を図るために、講師等を派遣し、研修会を開催する。 ・総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等の活動を支援し、スポーツの裾野拡大や、指導者等の資質向上に取り組む。 ・トップクラブチームのホームゲームにおける応援イベント「県民応援デー」等を実施し、青少年がスポーツ活動に取り組むきっかけづくりを提供する。 ・トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校やスポーツ少年団等へ派遣する。				
		成果・課題	【成果】 ・教育委員会、幼稚園や小学校など9回の研修会(参加者583人)に専門指導者を派遣。幼稚園児、小学生等へ様々な運動遊びの指導を行い、幼児期からのスポーツ活動のきっかけ作りを図ることができた。 ・部活動の地域連携・移行に向けた、指導者研修会を2回(参加者130人)開催。指導者の育成・資質向上を図ることができた。 ・岡山県スポーツ協会を通じ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等を対象とし研修会等を実施し、活動の充実を支援した。 ・「県民応援デー」において、スポーツ体験やエスコートキッズなどの企画を実施し、青少年がスポーツ活動に取り組む機会の提供を行うとともに、意欲の向上に努めた。 ・トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校等に派遣する「トップアスリート派遣事業」等を実施。青少年がアスリートと接する機会の提供、指導者の資質向上につながった。(R5年度292回派遣、R4年度247回派遣) 【課題】 ・開催方法や活動内容の工夫、開催PRの強化が必要である。 ・有資格者に限らず、今後指導者になり得る多くの人材を確保する必要がある。 ・スポーツにあまり関心のない子どもや若者にどのようにコンタクトしていくか、方法等を工夫する必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	1 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	2 働く世代、子育て世代、高齢者の運動・スポーツ活動の推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 保健医療部健康推進課 子ども・福祉部長寿社会課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	計画策定時	38.9% (2022年度)				
	指標の説明	岡山県「県民満足度調査(附帯調査)」による。 「岡山県晴れの国おかやま生き生きプラン」の目標値(生き生き指標)であり、同プランの見直しがあった場合は、本計画の目標値も見直す。	目標値	55.0% (2027年度)				
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				37.1%				

(2) 成果及び課題

成果	- 令和5年11月12日に開催した「おかやまマラソン2023」は、男女とも幅広い年代から参加いただき、大手ランニングサイトで全国第2位となるなど、ランナーの皆さまから大変高い評価をいただいた。 - レクリエーションスポーツや運動の実践方法等の啓発、働き盛り世代のスポーツ実施率の向上や高齢者の運動・スポーツの普及を図るとともに、県民の健康保持増進に取り組んだ。 - スポーツの体験教室やクラブ・サークル情報、県内スポーツイベント情報を提供するポータルサイト「おかやまスポーツナビ」について、利便性がより高まるよう改修した。
課題	- おかやまマラソンについては、引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。 - レクリエーションスポーツなどの軽運動をさらに普及させるため、よりわかりやすい情報提供を検討する必要がある。 - 気軽に運動・スポーツに取り組める環境整備や簡単に行うことができる健康・体力づくりを一層推進するため、内容や情報提供を工夫する。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツを通じた健康づくり・体力づくりを支援し、レクリエーションスポーツを実施するとともに、健康相談や栄養指導等を併せて実施し、事業の普及を図る。			
		成果・課題	【成果】 ・スポーツ教室やサークル情報、スポーツイベント情報を提供するポータルサイト「おかやまスポーツナビ」について、利便性がより高まるように改修した。 ・チラシの作成を行い、研修会や市町村教育委員会等へ配布し、周知を図った。 【課題】 ・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」を活用してもらえるよう、タイムリーな情報収集・掲載等に努める必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

2	スポーツ振興課(おかやまマラソン事務局)	事業内容	・おかやまマラソンについて、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。				
		成果・課題	【成果】 ・おかやまマラソン2023では、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、地域に元気と感動をもたらす大会となった。 ・フルマラソン定員15,000人に対し、21,008人応募 ・ファンラン定員1,400人に対し、2,532人応募 ・ボランティア5,077人 ・沿道応援123,000人 ・経済波及効果額17.0億円 【課題】 ・引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。	評価	2023年度	4	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		

4	健康推進課	事業内容	・「地域・職域保健連携推進協議会」において、関係機関・団体と働き盛り世代の運動定着について協議する。 ・高齢者向けに作成した、フレイル予防のパンフレットを活用し、運動を含めた健康づくりの普及を図る。				
		成果・課題	【成果】 ・高齢者向けに作成したフレイル予防のパンフレットを、健康づくりボランティアが地域で活用し、身体活動の促進や運動習慣の定着について、普及啓発を図ることができた。 【課題】 ・壮年期、高齢期それぞれの世代にあった運動の種類や習慣の定着に向けた方法をさらに普及啓発していく必要がある。(健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023の普及)	評価	2023年度	3	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		

5	長寿社会課	事業内容	・全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団の派遣 ・地域活動参加のための情報提供及び相談対応 ・ニュースポーツの普及及び用具の貸出等				
		成果・課題	【成果】 ・全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ県選手団を派遣することで、高齢者の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図ることができた。(ねんりんピック愛顔のえひめ2023) ・ニュースポーツの普及及び用具の貸出をすることで、高齢者の健康と生きがいつくり、地域参加への一助となった。 【課題】 ・引き続き、全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団の派遣にあたり、岡山県社会福祉協議会等と連携し、参加団体や実行委員会(事務局)等との調整を図るとともに、全国健康福祉祭(ねんりんピック)やニュースポーツ等の普及啓発を図り、さらなる地域参加を促進していく必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	3.3				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	3 学校における体育・スポーツ活動の充実 (1) 子どもの体力向上に向けた取組	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	1週間の総運動時間数60分未満の児童生徒数の割合	計画策定時	小5男子：9.5%、小5女子：15.5% 中2男子：7.6%、中2女子：17.9% (いずれも2022年度)				
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。	目標値	小5男子：4.3%、小5女子：7.4% 中2男子：3.7%、中2女子：8.9% (いずれも2027年度)				
	実績値			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				小5男子	9.1%			
				小5女子	16.4%			
				中2男子	12.2%			
				中2女子	25.7%			

数値目標	指標名	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒数の割合	計画策定時	小5男子：69.2%、小5女子：53.1% 中2男子：64.1%、中2女子：47.8% (いずれも2022年度)				
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。	目標値	小5男子：75.0%、小5女子：60.0% 中2男子：65.0%、中2女子：50.0% (いずれも2027年度)				
	実績値			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				小5男子	72.1%			
				小5女子	53.5%			
				中2男子	64.3%			
				中2女子	44.9%			

数値目標	指標名	新体力テストにおける総合評価C以上の児童生徒の割合	計画策定時	小5男子：64.3%、小5女子：69.9% 中2男子：67.6%、中2女子：81.7% (いずれも2022年度)				
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。	目標値	小5男子：80%以上、小5女子：80%以上 中2男子：85%以上、中2女子：85%以上 (いずれも2027年度)				
	実績値			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				小5男子	65.6%			
				小5女子	70.7%			
				中2男子	67.3%			
				中2女子	80.7%			

(2) 成果及び課題

成果	・令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の新体力テストにおける体力合計点は、小5男女・中2男女で全国平均点を上回ることができた。 ・運動やスポーツが好きな児童生徒の育成につながる体育・保健体育授業等の実施に向けて、県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援（体育授業エキスパート派遣事業）を行い、児童生徒が運動やスポーツに主体的に取り組むことができるよう、教員の指導力向上を図った。 ・各体連や学体連等と連携し、各種研修会において新学習指導要領に対応した体育、保健体育の授業についての指導助言を行い、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフが実現されるための資質・能力が育成されるよう指導内容や方法等の充実や改善を図った。
課題	・市町村教委や学校に対して、本県児童生徒の体力の状況と運動の習慣化や体力の向上につながるよう、今後さらに周知する必要がある。 ・引き続き、小・中体連と連携しながら子どもの体力向上への取組を進める必要がある。 ・体育授業エキスパート派遣事業について、さらに多くの学校が活用するように市町村教委や学校に周知する必要がある。 ・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育、保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連とさらに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・「みんなでチャレンジランキング」「体力アップ・マイベストチャレンジ！」への参加呼びかけ ・「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」の作成および活用呼びかけ ・県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援 ・授業実践例等をホームページで紹介 ・小、中、高体連への指導助言 ・小、中、高体連が開催する各種スポーツ大会等の支援			
		成果・課題	評価	2023年度	3	
				2024年度		
				2025年度		
				2026年度		
				2027年度		
				【成果】 ・運動の習慣化、体力の向上を図る取組である、「みんなでチャレンジランキング」を積極的に推進したことにより、参加学校園数、参加人数ともに令和4年度より増加した。 参加校園数:183(147) 参加チーム数:1,419(1,210) 参加延べ人数:48,602(36,766) ※()はR4年度 ・児童自らが新体力テストにおける目標を設定し、記録更新に向けて挑戦する「体力アップ・マイベストチャレンジ！」を実施した。 参加学校数:65 参加人数:6,502 目標達成児童数:2,711 ・学校や家庭での運動時間の増加を目的として、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を県内公立小学校へ配付するとともに、一定の条件を達成した児童に運動マスターバッジを贈呈することで、継続的かつ自発的に運動をしようとする意識を高めることができた。 活用校数:65校 参加児童数:10,126 バッジ配付児童数:4592 ・体育授業エキスパート派遣事業 活用回数8回(小:7回、中:1回) 参加教員数165名(小:151名、中:14名) 【課題】 ・市町村教委や学校に対して、本県児童生徒の体力の状況と運動の習慣化や体力の向上につながる事業の積極的な活用について、さらに周知する必要がある。 ・体育授業エキスパート派遣事業について、活用回数のさらなる増加のため、市町村教委や学校に周知する必要がある。 ・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育、保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連等とともに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	3 学校における体育・スポーツ活動の充実 (2)運動部活動改革の推進	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	該当なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	- 令和5年3月に改訂した「岡山県学校部活動の在り方に関する方針」を受け、中高運動部活動担当者を対象とした研修会やモデル校による実践研究を行い、短時間に合理的でかつ効率的、効果的な科学的トレーニングの導入や生徒の主体的な取り組みを促す指導法等につながるよう周知を図った。 - 令和5年度に作成した学校部活動指導資料を県内全ての中・中等教育・高等学校及び特別支援学校に配付し、体罰の根絶、セクハラ・パワハラをはじめとする不適切な指導の防止及び安全管理に対する対応等の周知を図った。
課題	- 国のガイドライン、県の方針を踏まえた、持続可能な運動部活動の在り方について、引き続き研究し、適切な運動部活動の運営を示していく必要がある。 - 体罰や不適切な指導の根絶と、医・科学的なトレーニングに基づく適切な部活動が実施されるよう、徹底する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	- 運動部活動の在り方に関する検討 - 体罰や不適切な指導等の根絶や、医・科学的なトレーニングに基づく指導法及び安全管理などの研修会の実施			
		成果・課題	【成果】 ・令和5年3月に文化部も含めた「岡山県学校部活動の在り方に関する方針」に改訂し、その内容に基づいて「学校部活動指導資料」を作成した。 ・体罰の根絶、セクハラ・パワハラをはじめとする不適切な指導の防止及び安全管理などの研修を行った。 【課題】 ・国のガイドライン、県の方針を踏まえた、持続可能な運動部活動の在り方について、引き続き研究し、適切な運動部活動の運営を示していく必要がある。 ・体罰や不適切な指導の根絶と、医・科学的なトレーニングに基づく適切な部活動が実施されるよう、徹底する必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (1)障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	担当課室	子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	障害者スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数	計画策定時	年間26回(2021年度)				
	指標の説明	「第4期岡山県障害者計画」で設定	目標値	年間50回以上(2025年度)				
			実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
			47					

(2) 成果及び課題

成果	・「第23回岡山県障害者スポーツ大会」については、計9競技を実施し、個人競技549人、団体競技34人、公開競技10人、延べ593人の参加があった。 ・全国大会へは、個人競技(5競技)26人、団体競技(1競技)6人の選手の派遣を行った。 ・障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典である大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、障害のある人の社会参加の促進に寄与できた。 ・障害者スポーツ教室を15競技47回開催し、595人の参加があった。このうち、県北においても4競技4回行った。
課題	・障害のある人が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障害に対する理解と認識を深める。 ・障害のある人がそれぞれの障害の程度等に応じて、スポーツを楽しめる機会の提供に努める。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	障害福祉課	事業内容	・「岡山県障害者スポーツ大会」の開催 ・「岡山県障害者スポーツ教室」の開催 ・「全国障害者スポーツ大会」及び団体競技地区大会への選手団の派遣				
			成果・課題	評価	2023年度	3	
		2024年度					
		2025年度					
		2026年度					
		2027年度					

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出		
施策の方向性	多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出		
施策名	4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (2)障害者スポーツの指導者の養成やボランティアの参加推進	担当課室	子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	- 岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、23人が受講した。 - ボランティア活動について、「第23回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア206人、係員ボランティア47人の参加があった。
課題	県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等と連携し、指導員の養成と活用の促進を図る。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	障害福祉課	事業内容	- 岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会の開催 - パラスポーツ指導者養成講習会等への派遣			
		成果・課題	【成果】 岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、23人が受講した。 ボランティア活動について、「第23回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア206人、係員ボランティア47人の参加があった。 【課題】 県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等と連携し、指導員の養成と活用の促進を図る。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	1 アスリートの育成・強化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	国民体育(スポーツ)大会における天皇杯順位	計画策定時	16位(2022年)				
	指標の説明	本県人口規模からは高い目標だが、恒常的に全国上位の競技力を維持することを目指して設定している。	目標値	10位台(2027年)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				20位				

数値目標	指標名	世界大会の出場者数	計画策定時	13人(2018年～2021年(2020年を除く)の平均)				
	指標の説明	岡山県ゆかりの選手がオリンピック・パラリンピック、最も権威ある世界大会に出場した人数の過去5年間の平均を勘案して設定。対象となる世界大会が隔年や4年ごとの開催となる競技もあるため、目標は3年間の平均とする。	目標値	15人(2025年～2023年の平均)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				14人				

(2) 成果及び課題

成果	・オリンピック等への出場を目指すアスリートを対象に、強化合宿や国際大会参加等に要する費用の一部を補助する「オリンピック育成事業」を実施し、当年度は強化指定選手として選定した。 ・国体へは562名の選手を派遣し、目標値には届かなかったものの、バレーボール、テニス、ローイング、体操、ライフル射撃の5競技で競技別天皇杯入賞を果たした。 ・強化遠征・合同練習会・トップコーチ招聘を行うことにより、選手の競技力の向上だけでなく、指導者のレベルアップも図られた。また、選手発掘が課題となっている競技団体においては、小中学生を対象とした競技体験会を開催している。
課題	・国体(スポ)では、目標の10位台に向け競技力調査をすると同時に、競技得点の大きい団体種目及び女子種別の強化を継続して行う必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・恒常的に全国上位の競技力を維持するために、ジュニア年代からの一貫指導体制の中で、系統的・継続的強化に取り組む必要があるため、各競技の年代ごとの県内トップレベルの選手を系統的に育成し、成年までつなげる競技力の向上を図る。 ・競技体験会を実施し、選手発掘の機会を提供するとともに、各競技団体から選抜された中学生に対し、各学年の競技レベルや発育・発達段階に応じた最適なプログラムを提供する。 ・オリンピック育成事業等、個別の事業を通じてコンディショニング指導や医・科学サポートに関する支援を進める。			
		成果・課題	【成果】 ・オリンピック等への出場を目指すアスリートを対象に、強化合宿や国際大会参加等に要する費用の一部を補助する「オリンピック育成事業」を実施した。 - 各競技団体ともに、効果的な練習ができているが、競技者の確保が困難な競技も増えつつあり、指導者の世代交代とともに、将来に向けた対策を講じていかなければならない。また、小学生や中学生の活動も定着し、小中あるいは中高が連携した取組も増えてきている。 ・オリンピック育成事業によって27名の選手を強化指定し、パリ大会に向け、世界大会等で多数入賞を成し遂げた。 【課題】 ・競技力強化に向けての事業が定着して効果的に進めることができていることから、継続的なデータの蓄積が不可欠である。 - 今後の競技の普及・育成に競技団体とのさらなる連携が不可欠である。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	2 アスリート育成パスウェイの構築	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	「岡山県アスリート就職支援事業」による県内就職支援事業」による県内就職内定者	計画策定時	4人(2021年度)				
	指標の説明	過去5年間(H29～R3)の内定者平均(3人)を勘案して設定	目標値	5人(2027年度)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				4人				

(2) 成果及び課題

成果	・特別国体における入賞数は、少年男子21、少年女子12であった。中でも、水泳(競泳)が優勝したほか、ローイング、レスリング、ハンドボール、ライフル射撃、陸上競技、ボクシング、バレーボール、ウエイトリフティングの全9種目において3位以内の成績を収めた。 ・チャレンジ ザ トップ! 事業において国内トップ水準のチーム、指導者を招聘し県内競技レベルの向上を図ることができた。 ・レッツ チャレンジ! 競技体験事業やスポーツ活動奨励事業、おかやま次世代アスリート事業において、専門的な指導者による競技体験や指導を受けることができ、競技に対する興味関心が高まった。 ・4名のアスリートの就職者を確保し、成果を上げることができた。 ・競技と職業を両立させている選手のインタビューをHP上で掲載し、デュアルキャリアについての啓発を行った。
課題	・強化体制が継続的に維持できている競技がある反面、普及や競技者の確保に窮している競技もあり、このことに対する対策が急務である。 ・アスリート就職支援事業では、より効果的なアスリート就職支援に繋がるよう、さらなる協力企業の開拓や採用後の支援等についても研究していきたい。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・競技体験会を実施し、選手発掘の機会を提供するとともに、各競技団体から選抜された中学生に対し、各学年の競技レベルや発育・発達段階に応じた最適なプログラムを提供する。 ・「チャレンジ ザトップ！」事業 中学生年代における国内トップ水準のチーム、指導者を招聘し、合同練習や試合を行っている。 ・レッツ チャレンジ！競技体験事業 それぞれの競技特性に応じて小学生、中学生、または高校生を対象に競技体験の機会を提供する。 ・スポーツ活動奨励事業 小学生を対象に専門的な実技指導を受ける機会を提供する。 ・おかやま次世代アスリート事業 県が主導して、競技普及に窮している複数の競技団体と共同で体験会を実施する。 ・ジュニア期から岡山で育成され、県内外で活躍している心身ともに優れたアスリートの就職を促進することで、継続的に優秀な人材を確保し、競技スポーツの推進はもとより、スポーツを通じた地域貢献に資する。 ・アスリート就職支援事業を継続実施し、将来の指導者としても期待できる若手人材の確保に取り組む。 ・キャリア教育については、デュアルキャリアについての啓発を行った。				
			成果・課題	【成果】 ・チャレンジ ザトップ事業では、なぎなた、バレーボールの2競技で実施。全国トップレベルの指導力を持つ監督による指導を受け、選手のモチベーション向上やスキルアップ、指導者の研修に繋がった。 ・レッツ チャレンジ！競技体験事業やスポーツ活動奨励事業では、専門的な指導者による競技体験や指導を受けることができ、競技に対する興味関心が高まった。 ・おかやま次世代アスリート事業では、スケート(ショートトラック・フィギュア)、アイスホッケーの2競技団体3種目合同の体験会を2回実施。競技団体指導者の専門的な指導のもと、普段なかなか触れることのできない競技を約50名の小学生が体験した。 ・アスリート就職支援事業を活用した者のうち、4名が就職内定を確保し、成果を上げることができた。	評価	2023年度	3
						2024年度	
						2025年度	
						2026年度	
						2027年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築			
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上			
施策名	3 指導者の育成・資質向上	担当課室	環境文化部スポーツ振興課	

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数	計画策定時	3,206人(2022年度)				
	指標の説明	毎年度、50人程度の登録者増を目指すこととする。(1.1倍程度の増)	目標値	3,500人(2027年度)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				3,486人				

(2) 成果及び課題

成果	指導者の世代交代の時期を迎えるに当たり、次世代の指導者を育成し、一貫指導体制をうまく引き継いでいくことが求められている。そのために、指導者育成制度等への参加を促すことで、コーチとしてのあり方を再認識するなど、指導者としての基礎となる知識や各競技の専門的知識を継続的に習得することができた。他競技の指導者との意見交換等の研修を実施し、県内指導者の連携体制の強化をすることができた。
課題	- 指導者の高齢化や減少が進み、次世代を担う若手・中堅指導者の育成が急務となっている競技団体が増えている。 - 指導者に求められる基礎的な資質能力の継続的な向上と県内指導者の連携体制が課題である。 - 各競技の目標となる選手の育成とその経験を活かした指導者を養成することは、本県の競技力向上につながる。 - 各強化事業の中で、競技団体と連携しながら着実に取り組んでいく必要がある。 - 本県スポーツ振興の担い手を育成するため、関係機関等とも連携しながら、引き続き研究する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツ指導者レベルアップ事業 県内の指導者に対して指導者としての基礎となる知識や、各競技の専門的知識を継続的に習得する機会を提供する。			
			【成果】 ・6競技から10名の推薦があり、8名がコーチ資格講習会を受講。2名が指導場面研修に参加し、指導者が学び続ける大切さを再認識し、専門知識を継続的に習得する機会となっている。 【課題】 ・講習会及び参加者から概ね好評を得ているが、直ちに成果が出るものではないことから、検証を続けていく。 ・本県スポーツ振興の担い手を育成するため、関係機関等との更なる連携が必要である。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・パラリンピック等への出場を目指す障害者アスリートを対象に、強化合宿や国際大会参加等に要する費用の一部を補助する「パラリンピアン育成事業」を実施し、当年度は6名を強化指定選手として選定した。
課題	・障害の特性に応じた専門的な知識を備えた指導者に指導を受けることのできる環境づくり

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・パラリンピック等への出場を目指す障害者アスリートを対象に、強化合宿や国際大会参加等に要する費用の一部を補助する「パラリンピアン育成事業」を実施。			
		成果・課題	【成果】 ・パラリンピック等への出場を目指す障害者アスリートを対象に、強化合宿や国際大会参加等に要する費用の一部を補助する「パラリンピアン育成事業」を実施し、当年度は6名を強化指定選手として選定した。 【課題】 ・障害の特性に応じた専門的な知識を備えた指導者に指導を受けることのできる環境づくり	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上		
施策名	5 アスリートの安全・安心の確保	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・オリンピック育成事業等を通して、指定選手のコンディショニングやサプリメントに関する補助など、医・科学サポートを進めている。
課題	・アスリートに対して県と県スポーツ協会・医学委員会が一体となった医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねていきたい。 ・持続可能で途切れることなくできる競技力強化支援システムの構築を図る。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・オリンピック育成事業等の事業を通じてコンディショニング指導や医・科学サポートに関する支援を進める。			
		成果・課題	【成果】 ・オリンピック育成事業によって27名の選手を強化指定し、パリ大会に向け、世界大会等で多数入賞を成し遂げた。 【課題】 ・個別対応事例などを整理しながら、県と県ス協医・医学委員会が一体となった医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねていきたい。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合	計画策定時	34.3% (2021年)				
	指標の説明	スポーツ庁が実施する「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」による全国(R3:46.2%)と本県(R3:34.3%)の割合をもとに数値目標を設定	目標値	50.0% (2027年)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				51.7%				

数値目標	指標名	「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	計画策定時	28.2% (2022年)				
	指標の説明	生き活き指標からは削除されているが、当初の目標値(R4:38.0%)を目指す。	目標値	38.0% (2027年)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				31.0%				

(2) 成果及び課題

成果	・市町村に、総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、総合型クラブ等を活用した事業等の情報提供を行った。 ・県スポーツ協会を通じて、総合型クラブに対し、学校部活動との連携を働きかけた。 ・総合型地域スポーツクラブと市町村等との調整を行うなど、広域スポーツセンターの活動を支援した。
課題	・自治体によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進しているところがあり、総合型クラブに対する住民ニーズが低いところもある。 ・広域スポーツセンターについては、国の動向を踏まえながら、引き続き、その位置づけを検討する必要がある。 ・スポーツ推進委員との連携強化も必要である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・市町村等に総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、岡山県スポーツ協会と連携して、総合型クラブの実情を把握するなど、その設立・育成を図る。 ・総合型地域スポーツクラブを支援する広域スポーツセンターの活動充実を図る。 ・総合型クラブの活性化を促進するため、岡山県スポーツ協会に委託し、広域スポーツセンター業務を担うスタッフを設置する。			
		成果・課題	【成果】 ・市町村に、総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、総合型クラブ等を活用した事業等の情報提供を行った。 ・総合型地域スポーツクラブと市町村等との調整を行うなど、広域スポーツセンターの活動を支援した。 【課題】 ・自治体によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進しているところがあり、総合型クラブに対する住民ニーズが低いところもある。 ・広域スポーツセンターについては、国の動向を踏まえながら、引き続き、その位置づけを検討する必要がある。 ・引き続き、登録・認証制度の登録に向けて県スポーツ協会と連携を図る必要がある。 ・スポーツ推進委員との連携強化も必要である。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 土木部都市局都市計画課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	国際スポーツイベント等誘致件数	計画策定時	2件（2022年度見込）				
			目標値	2件以上（2027年度）				
	指標の説明	毎年度2件以上の誘致を目指すこととする。	実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				3				

(2) 成果及び課題

成果	・おかやまマラソン2023では、全国各地から参加した16,100人のランナー、大会を支えた5,000人のボランティア、12万3千人もの応援者など、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、大きな盛り上がりとなった。 ・マスカットスタジアムにおいて、プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦3試合が開催された。 ・トップレベルの大会誘致を促進し、身近にトップアスリートの活躍に触れる機会を提供することで、競技人口の拡大や取り組んでいる県民の競技力向上を図った。 ・地域資源を生かした環境スポーツイベントである「岡山 備前 SEA TO SUMMIT2023」が開催された。
課題	・様々なスポーツイベントへの誘客促進を図るとともに、イベントをどのように地域活性化につなげていくか、方法等を検討し、取り組む必要がある。 ・県民がスポーツ観戦やスポーツ活動をより一層楽しめるよう、イベント等について、より積極的なPR方法や魅力的な企画内容を検討し、新たな取組を図る必要がある。 ・おかやまマラソンについては、引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。 ・児童生徒を中心とした競技人口の拡大に効果のある施策を、一層進める必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・トップレベルの競技大会の県内誘致を促進し、トップアスリートの活躍に触れる機会を提供する。 ・海、湖、里、山といった地域資源を生かした環境スポーツイベントである「SEA TO SUMMIT」を備前市において開催し、スポーツ活動への参加機会を提供することでスポーツ活動人口の増加を図るとともに、地域の魅力を発信することでイベントへの参加をきっかけとしたスポーツツーリストのリピーター化を促進し、地域の活性化およびスポーツツーリズム推進を図る。			
		成果・課題	【成果】 ・トップレベルの競技大会の県内誘致を促進し、身近にトップアスリートの活躍に触れる機会を提供することで、地域振興はもとより、児童生徒を中心とした競技人口の拡大や既に競技に取り組んでいる県民の競技力向上を図った。(R5年度3件) ・「岡山 備前 SEA TO SUMMIT2023」については、約140名が参加した。 【課題】 ・児童生徒を中心とした競技人口の拡大に効果のある施策を、一層進める必要がある。 ・「SEA TO SUMMIT」を継続的に実施していくために、引き続き、主体となる市町村を継続的に支援する必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

2	スポーツ振興課 (マラソン事務局)	事業内容	・岡山市をはじめ関係団体との連携のもとで、中四国最大規模の都市型マラソン大会を開催し、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。 ・前回大会での運営面の改善を図りながら、参加者アンケートでの意見等も参考に更なるランナーサービスの向上にも取り組む。				
		成果・課題	【成果】 ・おかやまマラソン2023では、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、地域に元気と感動をもたらす大会となった。 ・フルマラソン定員15,000人に対し、21,008人応募 ・ファンラン定員1,400人に対し、2,532人応募 ・ボランティア5,077人 ・沿道応援123,000人 ・経済波及効果額17.0億円 【課題】 ・引き続き多くの方に参加していただけるよう、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。	評価	2023年度	4	
		2024年度					
		2025年度					
		2026年度					
		2027年度					
3	都市計画課	事業内容	・マスカットスタジアムにプロ野球を誘致するため、「岡山にプロ野球を誘致する会」を中心に誘致活動を行う。 ・プロ野球開催時に球場周辺の賑わいづくりを実施する。				
		成果・課題	【成果】 ・プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦3試合が開催された。 ・プロ野球開催時に、観光PRなどを行い、球場周辺の賑わいづくりを行った。 【課題】 ・マスカットスタジアムでのプロ野球の試合は新型コロナウイルス感染症流行前の開催数に戻ってきたが、楽天の秋季キャンプについては令和2年度以降実施されていないので、再び実施してもらえるよう楽天に対して働きかけを行う必要がある。	評価	2023年度	3	
		2024年度					
		2025年度					
		2026年度					
		2027年度					

4. 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	3.3				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	3 トップクラブチームを核とした地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	計画策定時	111千人(2021年度シーズン)				
	指標の説明	ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山湯郷ベル、吉備国際大学シャトル岡山高梁、岡山リベッツ、トライフーズ岡山のホームゲームにおける観客動員数(新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準(243千人)の1.1倍程度とする。)	目標値	267千人(2027年度シーズン)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				248				

(2) 成果及び課題

成果	・トップクラブチームのホームゲームで実施する「県民応援デー」について、ファンに喜んでもらえるような企画を提供し、各クラブのファン・サポーターの拡大やスポーツに取り組む意欲の向上に努めた。 ・「PRIDE OF 中四国」を実施し、中四国関係県との交流を深めるとともに、岡山の観光情報の発信や、アウェイサポーターに向けた岡山への誘客促進を図った。 ・県内6トップクラブチームのホームゲーム等において、コロナ禍で観戦機会の遠のいた県民が再びスポーツ観戦を楽しむ契機となる機会を提供するとともに、トップクラブチームと子どもたちとの交流促進を図った。 ・「晴れの国トップアスリート派遣事業」により、小中学校や市町村のイベントにトップクラブチームの選手等のトップアスリートを派遣し、参加者に技術指導を行うなど、「するスポーツ」のきっかけづくりにつなげた。
課題	・トップクラブチームを取り巻く環境や、新たな時代の流れに応じて、引き続き、各クラブの支援を行う必要がある。 ・「県民応援デー」等について、より積極的なPR方法や魅力的な企画内容を検討し、県民がスポーツ観戦やスポーツ活動をより一層楽しめるよう、新たな取組を考え、地域活性化につなげていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・トップクラブチームのホームゲームにおいて、応援イベント「県民応援デー」等を実施し、スポーツ活動に取り組む人々やファン・サポーター等の拡大、県全体で応援する気運の醸成を図る。 ・ファジアーノ岡山と中四国のJ2チームとの試合において、「PRIDE OF 中四国」を実施し、関係機関と連携し、岡山の情報発信を広く行うとともに、アウェイサポーターの誘客の促進など県域を越えた交流や観光・物産による地域の活性化を図る。 ・トップクラブチームの選手が学校やスポーツ少年団等に出向き、技術指導や交流を実施するトップアスリート派遣事業を実施し、「するスポーツ」のきっかけづくりを促進する。			
		成果・課題	【成果】 ・「県民応援デー」において、応援フラッグ作成などの企画を実施し、県全体で一体的に応援する気運の醸成を図った。 ・「PRIDE OF 中四国」において、関係県との交流を深めるとともに、岡山の観光情報の発信や、アウェイサポーターに向けた岡山への誘客促進を図った。 ・小中学校や市町村のイベントにトップクラブチームの選手を含めトップアスリートを計247回派遣し、参加者に技術指導を行うなど、トップアスリートとの交流の機会の提供を推進し、「するスポーツ」のきっかけづくりにつなげた。 【課題】 ・トップクラブチームを取り巻く環境や、新たな時代の流れに応じて、各クラブの支援を行う必要がある。 ・「県民応援デー」等について、より積極的なPR方法や魅力的な企画内容を検討していく必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造		
施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化		
施策名	4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催	担当課室	国民スポーツ大会推進室

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	- 岡山市、倉敷市等と合同実行委員会を設立し、総会や常任委員会を開催するなど準備を進めた。 - 大会のテーマ、スローガン、シンボルマークを決定し、併せて公式ポスターや公式マスコット（ももっち）を作成し、広報活動に活用した。 - 円滑な大会運営ができるよう、先催県（第78回大会：北海道苫小牧市）を視察・調査した。 - 式典及び競技に係る運営計画を作成した。 - 大会の機運醸成や冬季スポーツの振興を図るため、スケート子ども体験教室を県内各地で実施した。
課題	西日本で初めて開催する意義ある大会の認知度をより一層高め、開催機運の醸成を図る必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	国民スポーツ 大会推進室	事業 内容	・競技会の開催市となる岡山市、倉敷市とともに合同実行委員会及び事務局を組織し、西日本で初めて開催される大会として、円滑な大会運営を目指し、今後の冬季大会の全国展開に向けた先鞭をつける大会とする。 ・全国各地から訪れる選手団及び関係者をおもてなしと感謝の心を持って歓迎し、岡山の魅力発信や地域の活性化につなげる。 ・大会を契機として、本県の競技力向上を図るとともに、県民が冬季スポーツに親しむ機会を創出し、その魅力をPRすることにより、冬季スポーツの振興を図る。			
			成果・ 課題	評 価	2023年度	3
		2024年度				
		2025年度				
		2026年度				
		2027年度				

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場の創出	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 子ども・福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・スポーツ推進委員協議会における情報交換や研修活動を通じて、市町村でのスポーツ活動の活性化を促進した。 ・地域スポーツ推進研修会を開催し、総合型クラブの指導者やスポーツ推進委員、行政職員等の情報共有・交流を促進し、連携の強化を図った。 ・おかやまマラソンにおいて、県民にスポーツボランティアへの関心を持ってもらうため、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集するとともに、ボランティア研修会等を通じてボランティアリーダーの育成を行った。 ・岡山県パラスポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、23人が受講した。 ・ボランティア活動について、「第23回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア206人、係員ボランティア47人の参加があった。
課題	・地域指導者や部活動の地域移行に向けた地域クラブ活動の指導者の新規登録者数の増加を促進するとともに、既登録者について、既存事業と連動を図りながら活動の場の提供につなげていく必要がある。 ・おかやまマラソンのみならず、より幅広くスポーツボランティアについて周知するため、より効果的なPR手法を検討する必要がある。 ・県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導員協議会等と連携し、指導員の養成と活用を促進を図る。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツやレクリエーション活動の指導者について、ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」への登録を促進し、指導者等の情報を提供する。 ・スポーツ推進委員の活動を活性化し、地域スポーツの推進を図る。 ・地域のスポーツ推進研修会を開催し、総合型クラブの関係者や行政等のそれぞれの立場からの情報共有・交流を促進する。			
		成果・課題	【成果】 ・スポーツ推進委員協議会における情報交換や研修活動を通じて、市町村でのスポーツ活動の活性化を促進した。 ・地域スポーツ推進研修会を開催し、総合型クラブの指導者やスポーツ推進委員、行政職員等の情報共有・交流を促進した。 【課題】 ・地域指導者のや部活動の地域移行に向けた地域クラブ活動の指導者新規登録者数の増加を促進、活躍の場の拡大のため、県スポーツ協会や競技団体等と連携し、情報収集に努めるとともに、効果的なPR方法等を検討する必要がある。 ・地域スポーツの推進のため、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員協議会の連携を促進する必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

2	スポーツ振興課 (マラソン事務局)	事業内容	・おかやまマラソンにおいて、県民が一体となって「支える」大会となるよう、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集する。			
		成果・課題	【成果】 ・おかやまマラソン2023においては、ランナー受付、給水・給食、沿道整理等において5,000人のボランティアが大会を「支える」人として活躍した。 ・大会後に行ったボランティアを対象としたアンケートでは、活動内容に「大変満足」「ますます満足」との回答が8割を超え、来年度以降の活動についても9割が「ぜひ活動したい」「どちらかといえば活動したい」と回答しており、「支える」立場として参加したことに対する満足度の高さがうかがえた。 【課題】 ・ボランティア経験者に対しては、リピーターとなってもらえるように、更に満足度を高めるための工夫を検討する。 ・ボランティア未経験者に対しては、参加の裾野を広げるため、様々な媒体を活用した効果的なPRを行う。	評価	2023年度	4
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	
3	障害福祉課 (再掲)	事業内容	・岡山県パラスポーツ指導員(初級)養成講習会の開催 ・パラスポーツ指導者養成講習会等への派遣			
		成果・課題	【成果】 ・岡山県パラスポーツ指導員(初級)養成講習会を延べ4日間開催し、23人が受講した。 ・ボランティア活動について、「第23回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア206人、係員ボランティア47人の参加があった。 【課題】 ・県障害者スポーツ協会やパラスポーツ指導者協議会等と連携し、指導員の養成と活用の促進を図る。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	3.3				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 土木部都市局都市計画課 保健医療部健康推進課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	県営スポーツ施設利用者数	計画策定時	492千人(2021年度)				
	指標の説明	シティライトスタジアム、ジップアリーナ岡山、岡山武道館、津山総合体育館・津山東体育館、美作ラグビー・サッカー場、備前テニスセンター、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場の利用者数。(H30(1,735千人)とR元(1,623千人)の平均(1,679千人)を基準に、1割程度の増を目指す。)	目標値	1,847千人(2027年度)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				1,776				

(2) 成果及び課題

成果	・個別施設計画中に、障害のある人も含め、利用者の利便性向上につながる内容を盛り込んでおり、計画実施に向けて施設管理者と情報共有を行った。 ・津山総合体育館の照明LED化工事など、各施設の改修を行い、利便性の向上を図った。 ・新型コロナウイルスに関する規制が緩和され、全体の利用者数は増加傾向ではある。 ・包括協定に基づく安全管理計画による施設管理を行い、事故防止や事故発生時の体制の整備に努めた。
課題	・施設管理者と連携しながら、個別施設計画を着実に実行していくとともに、ユニバーサルデザインに関する知識の向上等利用者サービスの向上に向けた取組を行っていく必要がある。 ・スポーツ施設について、さらなる利便性の向上に資するような情報提供の手法を検討する必要がある。また、感染症対策をはじめとした、利用者の安全安心に繋がる取組を強化する必要がある。 ・各施設の老朽化が進み、今後施設・設備の改修費用が嵩んでくることから、個別施設計画に基づき、計画的な改修等により長寿命化を図っていく必要がある。中でも利用者の安全に関わる設備等については速やかに実行する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・施設のユニバーサルデザインによる障害のある人が使いやすい環境づくり				
		成果・課題	【成果】 ・全ての施設（岡山武道館、津山総合体育館・津山東体育館、美作ラクビー・サッカー場、備前テニスセンター、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場）について、個別施設計画の中に、障害のある人も含め、利用者の利便性向上につながる内容を盛り込んでおり、計画実施に向けて施設管理者と情報共有を行った。 ・津山総合体育館の照明LED化工事を始め、あらゆる立場の人が利用しやすい施設に向けた改修を行った。 【課題】 ・引き続き、施設管理者と連携しながら、個別施設計画を着実に実行していく必要があるが、予算措置が困難な事案もある。 また、個別施設計画の内容よりも、さらに細やかな施設整備を行うことで、利用者サービスの向上を図り、利用者数の増加に取り組む必要があるため、施設管理者を対象とした研修会を実施するなど、ユニバーサルデザインに関する知識の向上を図る必要がある。	評価	2023年度	2	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
		事業内容	・計画的に改修等を行い、施設の長寿命化等を図るための個別施設計画を策定するとともに、その実行に取り組む。 ・指定管理者と連携しながら、積極的な利用者サービスの向上に向けた取組を行い、安全で適切な施設管理に努める。 ・スポーツ施設等の情報提供等に取り組み、利用者の増加や活用促進を図る。 ・県内スポーツ施設の設置者や管理者を対象に、施設・設備の点検や管理体制等の適切で具体的な知識についての情報提供を行う。				
		成果・課題	【成果】 ・津山総合体育館消防用設備更新工事はじめ、各施設の修繕等を行った。 ・指定管理者と連携し、利用サービスの向上など施設管理を行った。 ・ホームページを活用した施設情報の提供を行い、スポーツ施設の活用を促進した。 ・県内スポーツ施設の設置者や管理者を対象に施設・設備の点検等についての情報提供を行った。 【課題】 ・施設管理者と連携しながら、施設の修繕や長寿命化等を計画的に実行する必要があるものの、必要な予算の確保等に課題がある中、利用者及び職員の安全確保のため、防火避難上重要な設備については修繕等を速やかに実行する必要がある ・利用者サービスの向上を図り、利用者数の増加に取り組む必要がある。 ・環境負荷低減への社会的なニーズを踏まえ、個別施設計画に盛り込んだ照明設備のLED化等の計画的な実施に加え、太陽光パネル設置の検討など県有施設の省エネ化に取り組む必要がある。	評価	2023年度	3	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		

2	都市計画課	事業内容	・施設のユニバーサルデザインによる障害のある人が使いやすい環境づくり			
		成果・課題	【成果】 ・障害のある人だけでなく子どもから高齢者まで、そして観客・競技者・運営者などあらゆる立場の人が不便を感じることなく利用できるよう、施設にはきめ細かくユニバーサルデザインを採用している。 (車椅子対応観客席、車椅子対応スロープ、車椅子対応型エレベーター、車椅子使用者駐車場、多目的トイレ、音声案内エレベーター、点字ブロック等) ・親子連れの利用者の多い多目的広場に設置された、屋外多目的トイレについて、清潔で明るく車いす利用者が利用しやすい多目的トイレへの改修に合わせ、ベビーチェア・フィッティングボードを設置した。 ・2024年度に改修予定としていた、南テニスコートにあるテニスハウスの屋外階段の手すりを、1年前倒しで、二段手すりに改修した。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	
		事業内容	・長寿命化計画に基づき、施設機能の維持充実のため必要な改修整備を実施する。 ・指定管理者は利用者のニーズにあった自主事業を実施する。 ・指定管理者は安全管理計画を策定し、これに基づき施設管理を実施する。 ・指定管理者は包括協定に基づき、アンケートを実施するなど利用者のニーズを把握し、ニーズにあった運営を実施する。			
		成果・課題	【成果】 ・陸上競技場・体育館自動火災報知設備等更新工事、園内外灯照明設備更新工事、幼児用プール改修工事を行った。 ・コンソーシアムが指定管理者となっており、構成員の有するノウハウ、情報発信力を生かして幅広いイベントの実施、効果的な利用促進策を展開した。 ・安全管理計画に基づき施設管理を行った。 ・指定管理者と連携をしながら、利用者からのアンケートを実施するなどサービス向上を行った。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことによる、各種大会やイベントの通常規模での開催、中高生等の大会における保護者観覧の再開などにより、観客数も増加し、一層のにぎわいを取り戻している状況であり、基本的な感染症対策、熱中症対策等、適切な設備管理、樹木管理等により、利用者の安全を確保した上で、さらなる利用の促進を推進していく必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

3	健康推進課	事業内容	岡山県南部健康づくりセンターの利用促進				
		成果・課題	【成果】 ・岡山県南部健康づくりセンターについて、指定管理者と連携し、利用者の利便性の向上などに取り組んだ。 【課題】 ・利用者の利便性向上のため、さらなる取り組みが必要である。 ・施設機能の維持充実のため、必要な改修整備に取り組む。	評価	2023年度	3	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		
4	保健体育課	事業内容	・学校体育施設開放事業の推進				
		成果・課題	【成果】 ・公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っている。 R2年度開放状況 屋外運動場79%(70%)、体育館84%(76%)、武道場57%(41%) ※()は全国平均 ※学校体育施設設置等状況調査(R3.10月時点) 【課題】 ・公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、さらに多くの県民が活用できるように市町村教委や県立学校に対して、ホームページなどにより周知する。	評価	2023年度	3	
					2024年度		
					2025年度		
					2026年度		
					2027年度		

4 総合評価

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
総合評価	2.8				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	3 スポーツ界におけるDXの推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 土木部都市局都市計画課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	岡山武道館等、各県有スポーツ施設でキャッシュレス決済を導入し、利便性の向上を図った。
課題	団体、大会利用ではキャッシュレス利用が少なく、個人利用が主体のため、利用率は高くない。

3 各課における評価

番号		部課名		事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・多くの県民が広く利用する県有施設に、利用料金の支払いに、キャッシュレス決済を導入し、利便性の向上を図る。			評価	2023年度	3
							2024年度	
		成果・課題	【成果】 ・岡山武道館、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場、津山総合体育館、備前テニスセンター、美作ラグビー・サッカー場の各窓口でキャッシュレス対応端末を設置し、利便性が向上した。 【課題】 ・団体、大会利用ではキャッシュレス利用が少なく、個人利用が主体のため、利用率は高くない。	2025年度				
				2026年度				
				2027年度				
2	都市計画課	事業内容	・岡山県総合グラウンドと倉敷スポーツ公園の利用者の利便性の向上を図るため、利用料金の支払いに、キャッシュレス決済を導入する。			評価	2023年度	3
							2024年度	
		成果・課題	【成果】 ・岡山県総合グラウンドでは陸上競技場や体育館の窓口などに、倉敷スポーツ公園ではマスカットスタジアムの窓口でキャッシュレス対応端末を設置した。 ・以前より、キャッシュレス対応を望む声は少なからずあったため、利便性向上にはつながっている。 【課題】 ・両施設とも、金額の大きい案件については、口座振替となっているものが多いため、収入額全体に占めるキャッシュレス利用率は、あまり高くない。 ・岡山県総合グラウンドでは、支払い件数の9割以上を券売機による支払いが占めているため、キャッシュレス対応の券売機を導入する必要がある。(2024対応予定)	2025年度				
				2026年度				
				2027年度				

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				

第2次岡山県スポーツ推進計画 2023年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	「ハード」「ソフト」「人材」の充実		
施策名	4 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数	計画策定時	28,103件 (2018年度～2021年度の平均)				
	指標の説明	過去4年(H30～R3)の平均(28,103件)を基準に、1.5倍程度の増を目指す。(R3は東京大会によるアクセス増)	目標値	42,000件 (2027年度)				
			実績値	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
				26,273				

(2) 成果及び課題

成果	- 多くの県民が気軽に運動やスポーツに参加できるよう、運動・スポーツの体験教室やクラブ・サークル情報、県内スポーツイベント情報等の発信と、内容の改修に努めた。 2022年度も多くのアスリートが各種大会で活躍した。岡山県スポーツ特別顕彰は5名、岡山県トップアスリート賞は個人74・団体12、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人3を表彰した。
課題	ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」をより活用していただけるよう、利用者のニーズに合った内容や最新情報の提供ができるよう改修に努め、県民が手軽に利用できるよう、広報を工夫していく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	- 県内での「する」「みる」「ささえる」スポーツ活動の充実のため、県内のスポーツ情報を一括提供できる唯一のポータルサイトである「おかやまスポーツナビ」をより魅力的なものに充実させ、県内各地で行われているライフステージに応じたスポーツ活動を広域的に収集し、情報を発信していく。 - 国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めた個人又は団体及び優秀な指導者を顕彰し、本県スポーツの振興に資する。(スポーツ特別顕彰、トップアスリート賞、スポーツマスターズ賞、生涯スポーツ功労者表彰)			
		成果・課題	【成果】 ・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」や県ホームページへのスポーツ施設等の掲載を通じて、利用者の利便性の向上やスポーツ施設の活用の促進を継続的に試みており、アクセス数が年々増加している。 ・2023年度も多くのアスリートが各種大会で活躍した。岡山県スポーツ特別顕彰は5名、岡山県トップアスリート賞は個人74・団体12、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人3を表彰した。 【課題】 ・ポータルサイト「おかやまスポーツナビ」をより活用していただけるよう、利用者のニーズに合った内容や最新情報の提供ができるよう改修に努め、県民が手軽に利用できるよう、広報を工夫していく必要がある。	評価	2023年度	3
					2024年度	
					2025年度	
					2026年度	
					2027年度	

4 総合評価

総合評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	3.0				